

行政事業レビューシート (厚生労働省)						
予算事業名	顧問医師等の雇上げに要する経費		事業開始年度	昭和59年度	作成責任者	
担当部局庁	保険局		担当課室	医療課医療指導監査室	木曾 啓介	
会計区分	一般会計		上位政策	医療保険制度の推進に推進に必要な経費		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	保険医療機関等の指導・監査に際し、医療技術の進歩が著しい中、診療内容の当・不当の判断等について、医学的に高度かつ専門的な判断を求められる事例に対し、専門的見地から助言をいただくこととしており、指導・監査の共通認識を持っていただく為、顧問医師団会議を開催している。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	顧問医師団会議における会議費の支出。					
実施状況	顧問医師団会議において、会議費を支出した。7千円の支出【平成20年度】。 (※平成21年度については、他の会議での欠席者のお茶(在庫)を使用したため、経費の支出はない。)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	5.2	4.5	4.5	4.8	4.8
	執行額	3.8	2.9	3.1		
	執行率	73.1%	64.4%	68.9%		
	総事業費(執行ベース)	3.8	2.9	3.1		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	顧問医師団会議における出席者に対し、お茶を支出している。				
	見直しの余地	単価比較を行い、安価のお茶を購入する。 当該事業は、顧問医師を招集して会議等を行うものであるが、当初の出席予定人数を下回ったことにより、事務費(非常勤職員手当や旅費)について、不要額が生じたものである。しかし、今後、個別指導等の実施件数を増やすこととしており、それに伴い、専門的見地から顧問医師の助言等をいただく機会が増えることから、平成22年度予算においては、顧問医師の招集人数について、見直しを行った。そのため、平成22年度予算は、平成21年度より増額した予算となっている。なお、平成23年度予算要求においては、平成22年度予算要求時の顧問医師の招集人数の見直しを考慮し、平成22年度予算と同額で要求をしている。				
予算監視の所見率化	事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。					
補記						

(平成21年度執行ベース)

厚生労働省
3.1百万円

顧問医師等の雇上げに要する経費(非常勤職員手当、旅費、会議費)



民間会社
21年度執行なし
(20年度7千円)

会議におけるお茶の支出。

※うち、事務費3.1百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

